

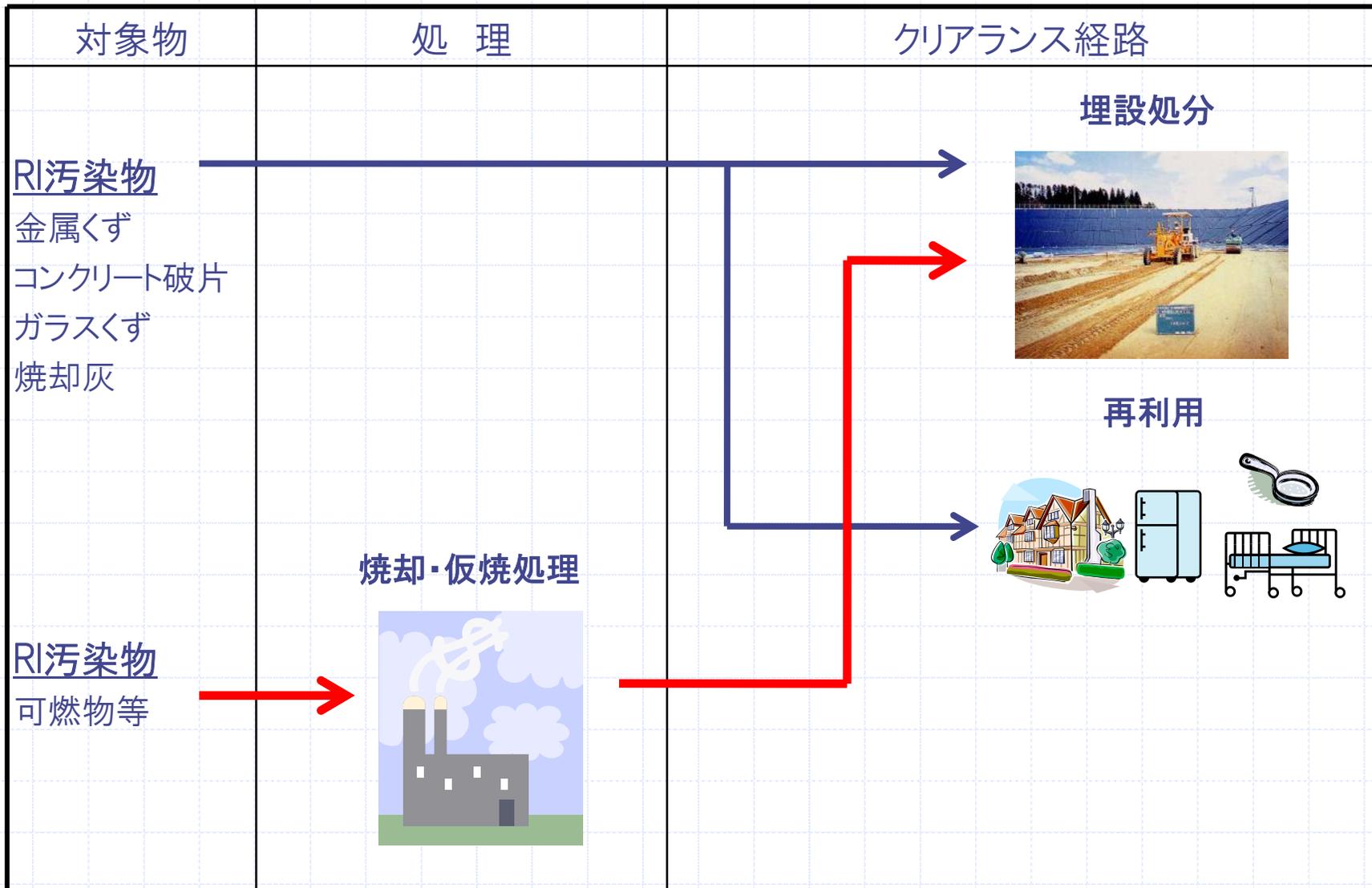
RI廃棄物の焼却とクリアランスへの対応 について



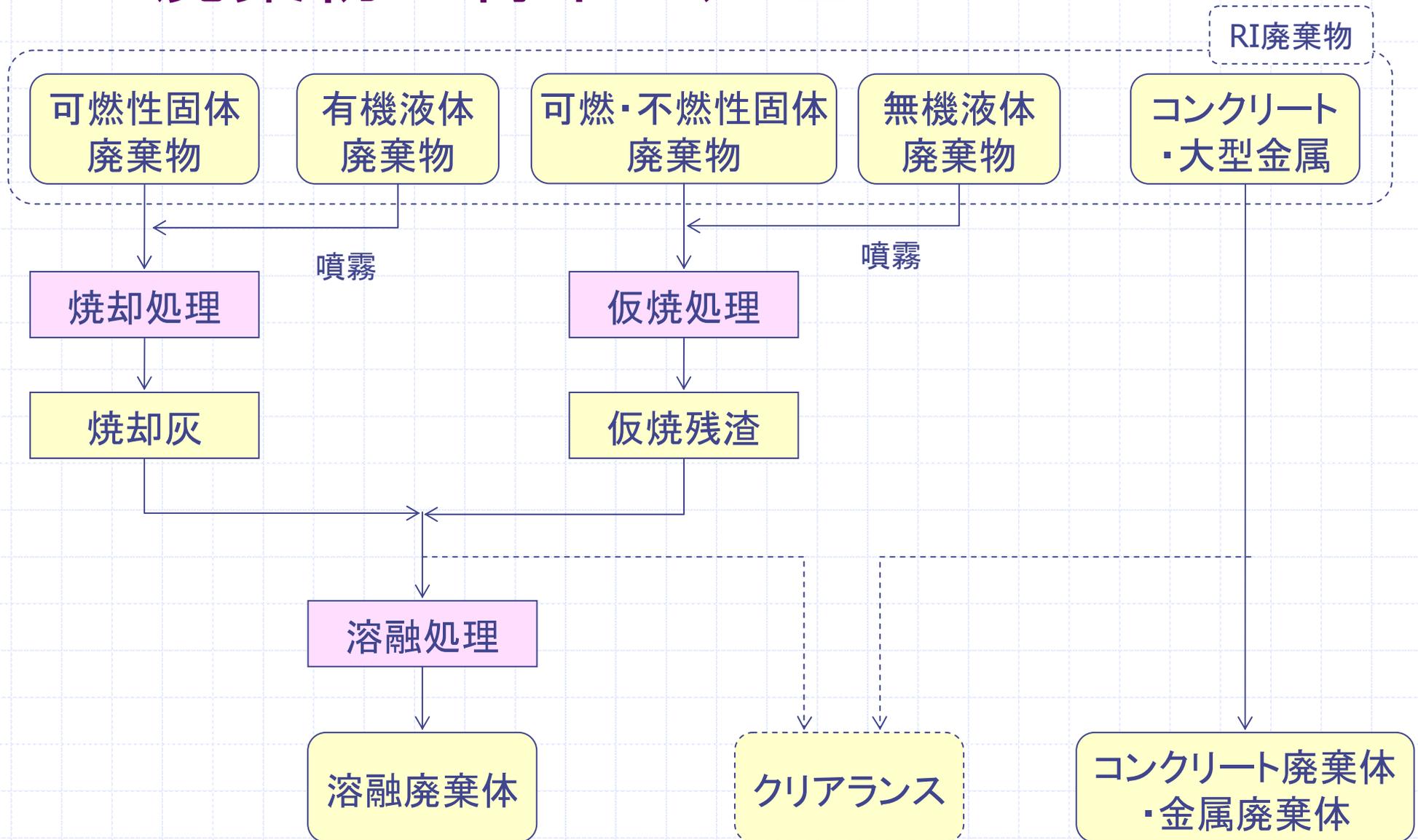
社団法人 日本アイソトープ協会

平成22年3月18日

RI汚染物のクリアランス経路(想定)



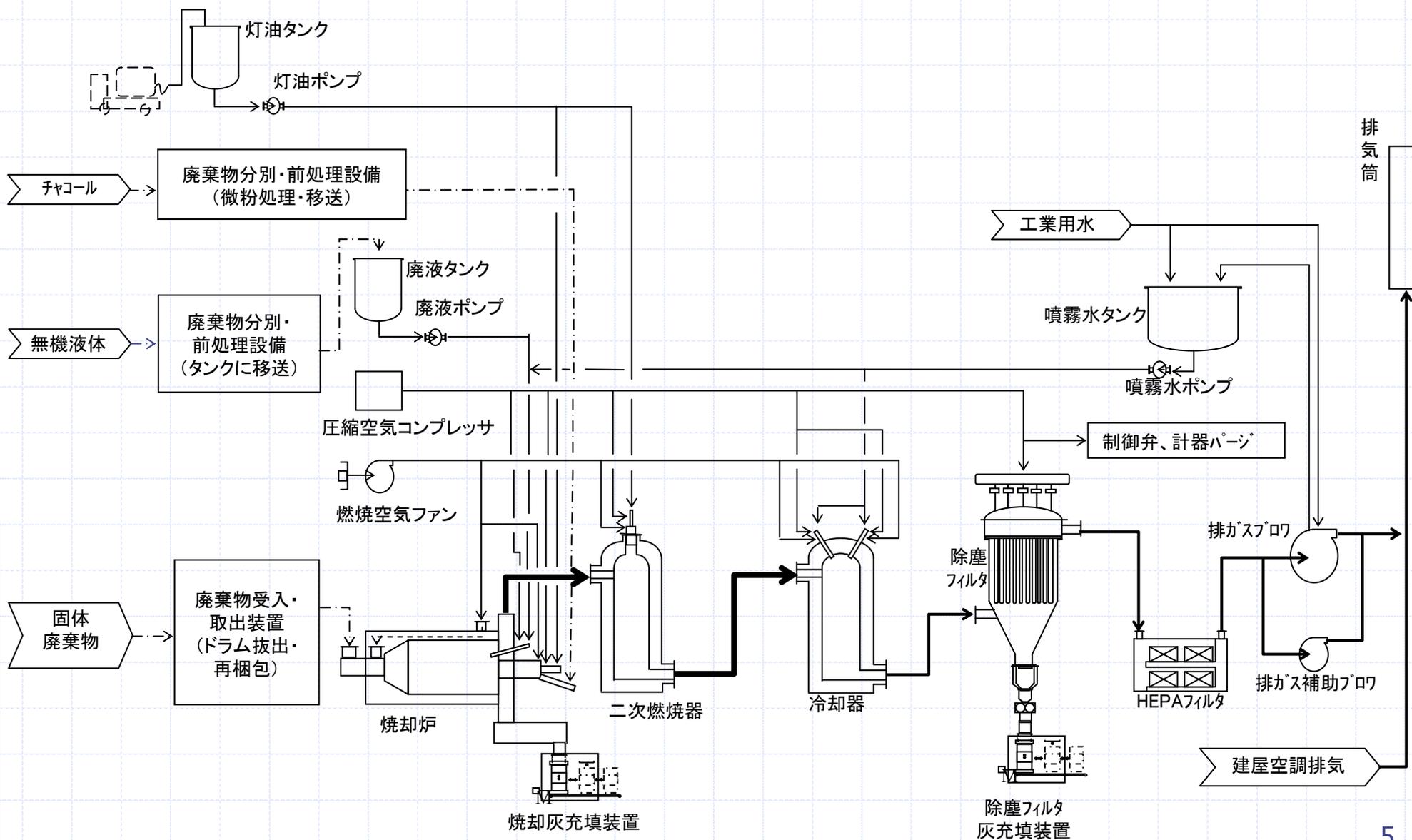
RI廃棄物の将来の処理フロー



仮焼炉（ロータリーキルン）



仮焼処理設備処理フロー図



仮焼処理による減容・安定化試験



模擬廃棄物(可燃物)



模擬廃棄物(難燃物及び不燃物)



焼却炉内の様子

仮焼処理による減容・安定化試験



焼却残渣



焼却灰中のガラス瓶

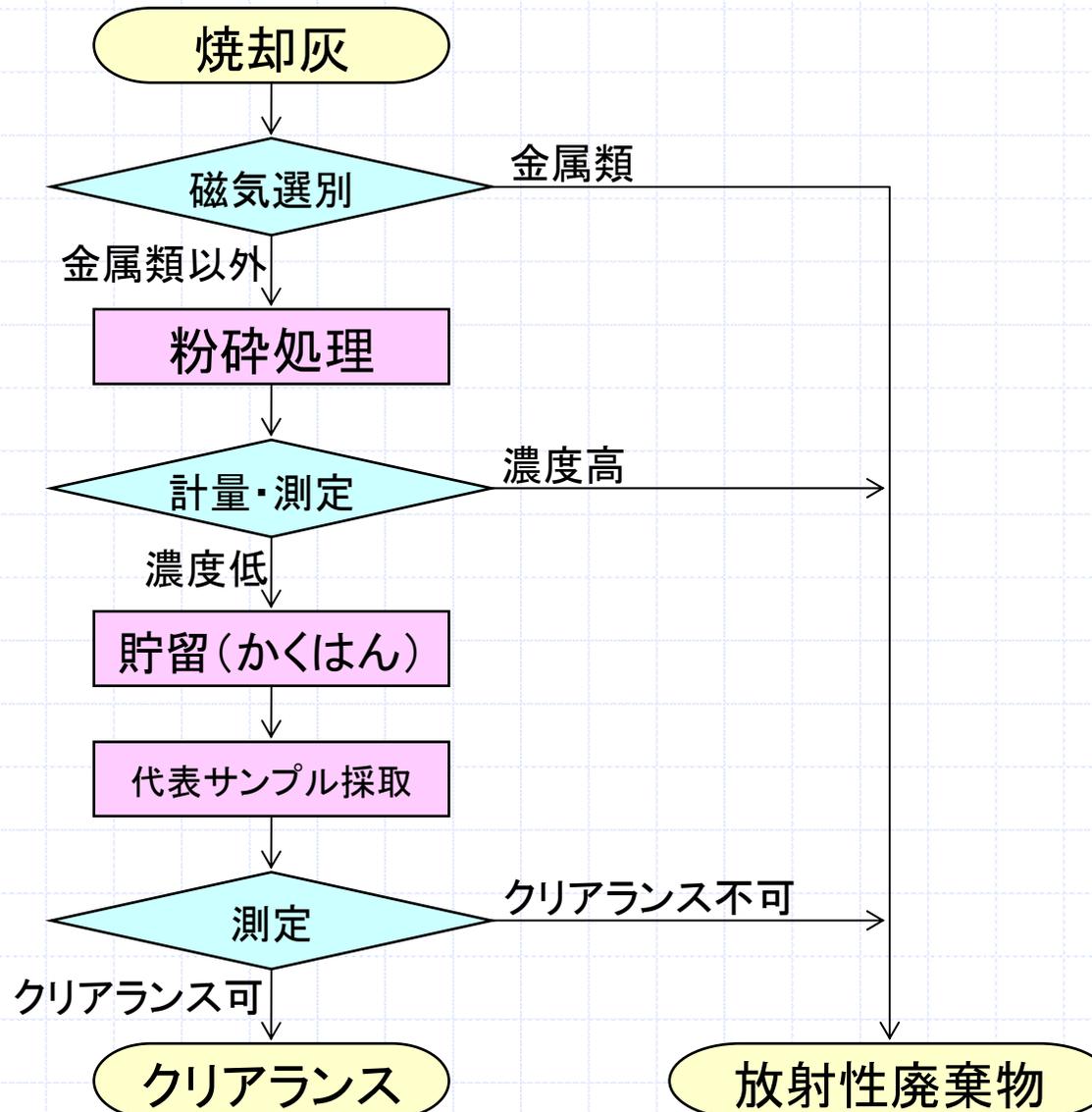
今後の検討事項(第2次中間報告書より)

【クリアランス対象物を確認するために必要な判断の方法】

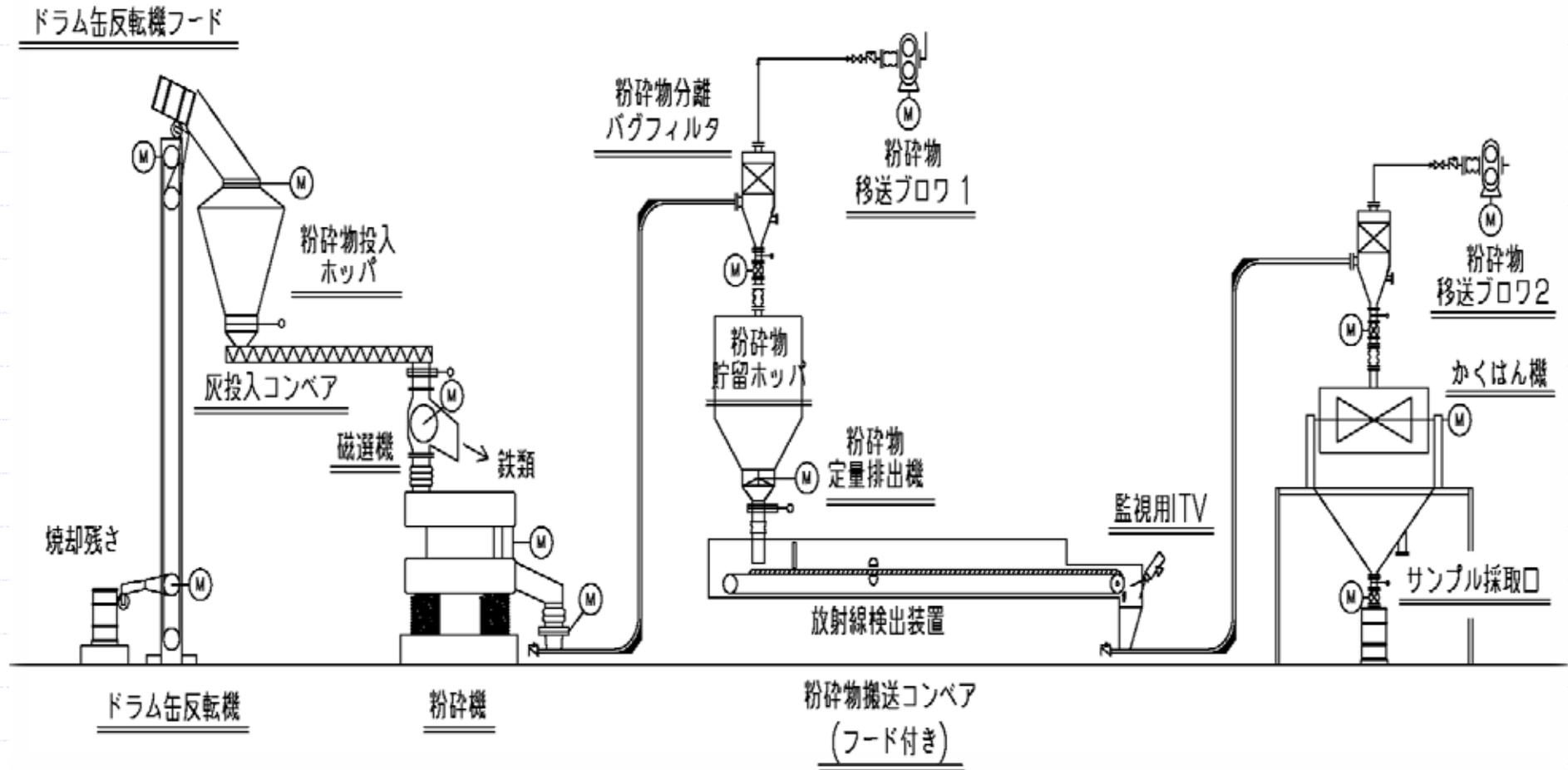
○ RI汚染物のうち可燃物(焼却灰)の確認方法については、原子炉の考え方を基本として独自の確認方法を検討。

- 今後の主な検討事項：
- ・ 放射能濃度の測定方法及び評価単位
 - ・ 放射能濃度分布の均一性の確保
 - ・ 測定対象核種の選定方法
 - ・ 多様な核種(測定困難核種、短半減期核種等)の混在への対応
 - ・ 減衰を考慮したクリアランス判断

焼却灰のクリアランス判断のフロー(案)



焼却灰のクリアランス判断のための機器フロー一例



クリアランス判断に用いる機器の例



粉碎機



かくはん機

クリアランス判断に用いる測定装置の例



検出装置外観



検出面

提供:アロカ(株)